

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) レポート指導	授業の種類 (講義・演習・実技)	授業担当者 名地 宙 (実務経験者) 川本 公代 (実務経験者)	
授業の回数 120 回	時間数 (単位数) 240 時間 (8 単位)	配当学年・時期 1 年 前期	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士を目指す学生のレポートとしてふさわしい内容に仕上げる。</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出期限内に提出し、大学の担当者から合格の評価を得る。</li> <li>・自分なりの考えをもち、それを自分の言葉で表現できる。</li> <li>・課題に求められた内容を理解してまとめることができる。</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>1～120          名地 70 コマ   川本 50 コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各人の計画に従ってレポートを完成させる。</li> <li>・まとめ方等、困っている場合、相談に乗る。</li> <li>・完成後、以下の観点でレポートを添削指導する。</li> </ul> <p>①決められた書式になっているか</p> <p>②誤字脱字の有無</p> <p>③教科書や参考文献の提示の有無</p> <p>④内容の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に沿った内容か</li> <li>・自分の言葉で表現できているか</li> <li>・論理的に順序良く構成しているか</li> </ul>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>大学指定の教材</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得には 8 割以上の出席が必要</li> <li>・課題提出を課し、評価項目 (主題提示 (40 点) 構成 (30 点) 表現 (15 点) 用字 (15 点)) を評価し 6 割以上の修得が必要</li> </ul>	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会調査	授業の種類 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">講義</span> 演習 ・ 実技)	授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>社会調査の基礎を踏まえたうえで、社会調査の意義と目的・倫理・統計法・量的質的調査・IT活用などに関する基礎的事項を分野横断的、体系的に学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>社会調査の基礎に関する基本知識を理解し適切に説明できる。 社会調査を具体的に理解し、その特徴を考察し、実際に社会調査を行える。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第1回 社会福祉と社会調査・社会調査の歴史</p> <p>第2回 社会調査の対象と方法…量的・悉皆・質的・標本</p> <p>第3回 社会調査の対象と方法…無作為標本抽出・等間隔抽出・層化抽出・有意抽出</p> <p>第4回 調査回数と対象…横断式・縦断式・自計式・他計式 具体的調査方法…郵送法・直接面接法・電話インタビュー・留め置き法</p> <p>第5回 回答法・選択枝法・データ (変数) の型と尺度</p> <p>第6回 調査票の作成…ダブル・バーレル、(イン) パーソナルな質問、キャリーオーバー 回答法・選択枝法…自由・単数・複数・限定・回答法</p> <p>第7回 データ (変数) の型と尺度、測定 (尺度) の信頼性・妥当性 測定 (尺度) の水準…名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度</p> <p>第8回 集計と分析・コーディング・テキストマイニング・単純集計・記述統計</p> <p>第9回 質的変数 (名義尺度・順序尺度) の分析度数・度数分布表・ヒストグラム 平均値・中央値・最頻値・分散と標準偏差・クロス集計・質的データ分析 (QDA)</p> <p>第10回 散布図、相関、回帰・ピアソンの積率相関係数・統計的検定・カイ2乗検定</p> <p>第11回 質的調査の方法…面接法と観察法、構造化面接 (構造化インタビュー) 半構造化面接 (半構造化インタビュー)・非構造化面接 (非構造化インタビュー)</p> <p>第12回 観察法…参与観察法・アクション・リサーチ、非参与観察法、統制的観察法</p> <p>第13回 事象見本法、時間見本法、調査における観察者の位置づけ</p> <p>第14回 社会調査の実際…クローズアップ現代より</p> <p>第15回 社会調査のまとめと復習問題</p>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>社会調査の基礎 中央法規 社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2019 社会福祉士国試ナビ 2019</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要</p>	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会福祉援助技術演習	授業の種類 (講義・演習・実技)	授業担当者 川本 公代 (実務経験者)	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ・これまで学んできた理論を基に専門職として実際の援助場面で活用していくためのスキルを主体的に学ぶ。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・演習における自己の観察から自己覚知しそれを文章化することができる。 ・言語的・非言語的コミュニケーションそれぞれの特性を知り他者の理解を深める。 ・事例をもとにストレングスやエンパワメントの視点で人と関わることができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]  1 自己理解と他者理解 2 共感の意味と深さ 3 価値観の違い 4 言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーション 5 ソーシャルワークの価値と倫理 1 6 ソーシャルワークの価値と倫理 2 7 記録技法 8 アセスメント 9 プランニング 10 ケースカンファレンス 11 効果と評価測定 12 コミュニティワークのプロセス 1 13 コミュニティワークのプロセス 2 14 人と環境の相互作用 15 受容の意味			
[使用テキスト・参考文献] ソーシャルワーク演習ワークブック (株) みらい		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には 8 割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会福祉援助技術論Ⅱ	授業の種類 (講義) 演習・実技	授業担当者 川本 公代 (実務経験者)	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助の展開過程を順序立てて理解しそのポイントを把握する</li> <li>・ 利用者との信頼関係の構築の方法と必要な技術を学ぶ</li> <li>・ さまざまなアプローチ方法を知りその特徴を捉える</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助の展開過程のそれぞれの段階の重要点を説明することができる</li> <li>・ 傾聴の意味を説明できて面接技術のポイントを実際に示すことができる</li> <li>・ アプローチ法を具体的に説明できる</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談援助の展開過程①ニーズ発見～インテーク (かかわり技法)</li> <li>2 相談援助の展開過程②インテーク～アセスメント (エコマップ)</li> <li>3 相談援助の展開過程③アセスメント～プランニング</li> <li>4 相談援助の展開過程④アセスメント～エバリュエーション</li> <li>5 面接技術</li> <li>6 面接技術</li> <li>7 グループを活用した相談援助</li> <li>8 さまざまな実践モデルとアプローチ①</li> <li>9 さまざまな実践モデルとアプローチ②</li> <li>10 さまざまな実践モデルとアプローチ③</li> <li>11 スーパービジョンとコンサルテーション</li> <li>12 相談援助における個人情報の保護・ICT の活用</li> <li>13 相談援助の実際 事例</li> <li>14 相談援助の実際 事例</li> <li>15 相談援助の実際 事例</li> </ol>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ 弘文堂</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位取得には 8 割以上の出席が必要</li> <li>・ 筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要</li> </ul>	